

● 草の根パートナー型

2015年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	タンザニア連合共和国
2. 事業名	タンザニア東部ウルグルル山域におけるバナラ産地の形成と生計向上
3. 事業の背景と必要性	タンザニア東部ウルグルル山域は、焼畑耕作などによる森林消失や土壌劣化が起こり、貧困がそれを加速させる「貧困・環境破壊のスパイラル」に陥っている。このため、 地域住民の生計向上と資源・生態環境の保全を同時に果たす新たな在地生業の形成が必要 である。その有望な解決策の一つが、在来の屋敷林システムへのバナラ栽培の導入である。屋敷林産品（バナラや香辛料作物）の販売により世帯収入が向上し、屋敷林の拡大で自ずと生態環境が保全される。
4. プロジェクト目標	ウルグルル山域に国内有数のバナラ産地が形成され、地域住民の生計の向上がはかれる
5. 対象地域	タンザニア東部・ウルグルル山域（モロゴロ・ルーラル県）
6. 受益者層	地域住民（300世帯）
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> ウルグルル山域の屋敷林システムにバナラ栽培が導入され、産地が形成される ウルグルル山域のバナラ栽培導入世帯に加工技術が普及・定着し、品質の向上と安定化がはかれる バナラや屋敷林産品の生産と販売により世帯経済が向上する <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> バナラ栽培に関する住民や地域連携機関向けのセミナーや研修の開催、バナラの育苗、住民への苗の頒布や技術情報の提供等 バナラ加工施設の建設、加工技術冊子の作成・頒布、加工技術研修の開催等 バナラの加工、現地仲買人や日本へのバナラの販売等
8. 実施期間	（西暦）2017年3月～2020年3月（3年間）
9. 事業費概算額	49,952千円
10. 事業の実施体制	実施団体：地球・人間環境フォーラム C/P機関：ソコイネ農業大学社会科学・人間学部（CSSH-SUA）、ウルグルル山域農業開発計画（UMADEP）
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	地球・人間環境フォーラム
2. 活動内容	環境問題に関する調査、対処法の開発・普及、環境教育、地域開発支援など